

「夏だ！ 休みだ！ 里山で遊ぼう！ ①」 レポ

尾崎 信次

7月23日(土)「夏だ！ 休みだ！ 里山で遊ぼう！ ①」を開催した。奈良県主催の「山と川の月間」の協賛イベントと Green Gift 地球元気プログラムの正式イベントも兼ねている。

本来は7月16日の予定だったが、悪天候のため1週間順延となり、参加者は児童10名、父兄13名、スタッフは30名での実施となった。

午前8時前にスタッフが集結した。GG 横断幕、奈良・人と自然の会や奈良県の旗を立て、大型扇風機3台とそれにつなぐ発電機を設置した。そして受付台の設定等を行って準備完了。

8時半頃から到着し始めた参加者は受付で名簿確認、手の消毒、マスクを確認した。そして、ヘルメットを受け取り、班分けのテープを貼ってもらう。

9時に開会セレモニーが始まり、千載会長の挨拶、小島さんから内容説明、安全に付いての注意が行われた。全員で集合写真を撮影した後、2班に分かれて里山活動を開始した。

昆虫観察は梅林周辺で網を使って採集した虫を虫かごに入れた。蝶・トンボ・バッタ・甲虫等の種類別の数を記録。昆虫に詳しい菊川さんや木村さんに同定してもらった。

昆虫だけでなく、山から流れる小川にいる、カエルやタニシ取りに夢中になる子らもいた。



竹遊びでは、竹の伐採見学。今年と2～3年

前の竹は大きさは変わらないのに色や叩いた時の音色が違うことについて説明を受けた。

その後、ノコギリを使っての竹の輪切りの体験や、花瓶・貯金箱作りに挑戦した。



10時半から15分間の休息の後、ヘルメットを着用しての里山活動体験になった。

全員で急坂をロープを使って登坂した後、2班に分かれた。里山散策は大極殿を眺望できる所に登り、小羊歯でピヨン・シダの飛行機で遊び、キノコの話を高間さんから聞いたりした。

里山遊びはロープブランコに乗ったり、木に立てかけたハシゴに登ったり、丸太渡りをして遊んだ。



ベースキャンプに戻り、会員有志が幼虫から成虫に飼育したカブトムシやクワガタを始め、竹笛・鹿の折り紙・ジュズ玉ブレスレット等、数多くのお土産を子供たちにプレゼントした後、会長の閉会の挨拶でイベントは幕を閉じた。

炎天下での活動であったが、事故も無く無事に終了することができた。